



環境デザイン系列2年生が**長崎くんち** **「庭見世」**の準備に当たりました。

こんにちは、生徒会です。

長崎くんちの開幕まで4日となった3日（金）に、本校環境デザイン系列2年生を中心に長崎くんちの”庭見世”の準備に当たりました。

“庭見世”とは、その年の踊り町が表通りに面した店舗などに、傘鉾をはじめ演し物の曳物や衣装、小道具、楽器などを分散して飾るほか、出演者に贈られたお祝い品を所狭しと並べて披露するものです（出典：「長崎伝統芸能振興会」（nagasaki-kunchi.com））。

生徒は授業の一環として参加し、「阿蘭陀万歳」を奉納する新橋町の老舗料亭「一力」の庭見世会場前の、竹の装飾作業を行いました。

長崎市民にとって長崎くんちは、地域で支え合って行われるとても熱い祭りです。今回参加した生徒にとっては、地域の伝統を感じる貴重な体験になったことと思います。なお、作業の様子は下記の写真の通りです。

